



津奈木中
学校便り
No. 12

夢実現・挑戦

令和6年5月16日
津奈木町立津奈木中学校
校長 高橋 裕二

「見通す力・やり遂げる力・伝える力」

令和6年度、新入生28名を迎え、全校生徒89名、教職員25名でスタートしました。

昨年度の「活力ある生徒」の部分で、「粘り強く」の言葉に変更し、**学校教育目標を、**

夢実現に粘り強く挑戦する生徒

にしました。自分で決めた夢や目標を、途中で諦めたり投げ出したりせず、実現するまでやり遂げてほしかったからです。

また、**重点的に育てたい資質・能力も、**

- ・見通す力
- ・やり遂げる力
- ・伝える力

に変更しました。学校教育目標を実現するために、授業だけでなく、学校行事や生徒会活動、部活動等で、枠内の3つの資質・能力を育てていきたいと思えます。

ところで、始業式で生徒に話したことを、2つ紹介します。

1つ目は、主体性です。勉強やスポーツ、文化面など何事も、先生や指導者から言われている間は、なかなか成長できないようです。家庭学習や自主練習など、自分で決めた目標や取組を、計画的に努力して初めて結果に結びつくと思えます。

させられる勉強や練習から脱却させるためにも、生徒の主体性を大切にしたいです。

2つ目は、思考力です。学校生活や日常生活では、今の状況を把握し、考え判断して、より良い行動を取ることが求められます。また、授業でも、予想する、考察する、比較するなどの場面が多くあります。

このように、物事を深く考えるためにも、思考力の育成を大切にしていきたいです。



【入学式 新入生代表誓いの言葉】

「自主学習ノート」で夢実現!!

昨年度は基礎学力の定着のために、朝自習プリントや基礎学力テスト、つなぎタイム(25分)等の取組を行い、12月の熊本県学力調査では、県平均を上回り、一定の成果は出ました。

一方、その質問紙調査で、明らかになった学習習慣の主な課題は、以下の通りでした。

- 予習や復習ができていない生徒・・・約47%
- テストで間違った問題のやり直しが不十分な生徒・・・約23%
- 平日1日あたりの家庭学習が30分以下の生徒・・・約10%

今年度、津奈木町や教育委員会から、さらに予算を頂きましたので、自主学習ノートは学校で準備することにしました。



学力で成果をあげて【津奈木・福浜駐在所 交通安全教室】いる秋田県や石川県などでは、家庭学習で自主学習ノートを主体的に取り組んでいます。

一冊使い終わったら、事務室の杉本先生にもらに行ってください。何冊でも配付します。

自主学習ノートで学力をつけ、夢実現です。

前任校の生徒で、現在芦北支援学校高等部佐敷分教室に在籍する生徒と、水俣市内で久しぶりに会いました。最後の体育大会という話を聞き、当日見に行きました。芦北高校の体育大会を見るのは初めてでしたが、男女比が違う各科対抗の種目では、様々な工夫がありました。100m走では女子は80m、リレーではワープレーンの設定、綱引きでは人数調整など、どの種目も勝負の行方がわからず、とても盛り上がりました。綱引きでは、女子の割合が高い福祉科が優勝しました。私は生徒によく言っていますが、「できない理由を見つけるのは簡単だが、どうしたらできるかを考えることが大切である」が実践されていました。

また、100m走では走者の名前が呼ばれると、応援席から大きな声援があり、生徒たちがお互いの存在を大切にしている姿に感動しました。